



いきいき和歌山がんサポート理事長 谷野裕一

# がんになっても いきいきと!

## 123 セカンドオピニオンで納得の診療

12日、串本では桜が咲いていました。和歌山もそろそろ春かな？

実は2月の初めに小樽へ1人でスキーに行ってきました。到着の夜は吹雪。その後3日間、日本海側では珍しい連続の晴れ。最高でした。今やスキーが筋トレの目標。もう1回行こうか迷っています。皆さんも楽しいこと見つけて運動しましょうね。

川端心理士も一緒に話します。ぜひご参加ください。録画もあります。

これまで7回のセカンドオピニオンは主に2種類でした。術後の抗がん剤治療の相談と、乳がん再発後のいろんな相談。術後は、再発を抑える薬の効果や副作用の話でよいのですが、再発後の相談は少し状況が違います。聞いたことが多岐にわたります。北里大学、神戸大学、和歌山医大では、主治医からの紹介状とデータをみて、治療選択の話をするだけでしたが、今は心理士の予診が1時間あります。聞く専門家である心理士が事前に聞き取ると、紹介状には載っていない、今の症状と副作用のこと、今後の状況の予測、家で生活するのに必要なことなど、聞きたいことが、患者さんや家族から出てきます。実は、

治療選択はそれほど本人にとって大きな問題ではなくて、これからどうなっていくのか、どう過ごしたいのかが主な相談の目的だったりします。だから、大病院でセカンドオピニオンに納得いなくて、私のオンラインセカンドオピニオンを申し込まれる方も多いで

す。それに病院では、主治医は忙しい、外来で1時間以上かけて、これまでの状況や今後の治療の見込み、今後の生活などの詳しい説明する時間はありません。われわれのセカンドオピニオンを終え、納得した患者さんを診療する方が、主治医には楽です。大病院で培った経験豊富な医師との意見交換は、地方病院の1人でやっている主治医が自信を持って診療するのに効果的です。実際、私は市民病院時代、納得のいかない患者さんには、セカンドオピニオンにぜひ行ってくださいと言っていました。

オンラインセカンドオピニオンの患者さんはまだまだ少数ですが、乳がんの患者さんが元気に過ごせるようにするために、今後とも貢献していきたいと思っています。応援をよろしくお願いいたします。

には早々と内容をお知らせしました。3月9日(土)の神戸講演会は現地とオンラインのハイブリッドで行います。講演は神戸で6回目。参加者が増えてきました。和歌山からのご参加お願いします。左の二次元コードからどうぞ。

谷野メディカル  
オンライン 代表  
谷野裕一  
非常勤医師  
公立那賀病院乳腺  
外科

谷野裕一  
代表  
breastlife.com  
https://www.breastlife.com



2/2 (1行)